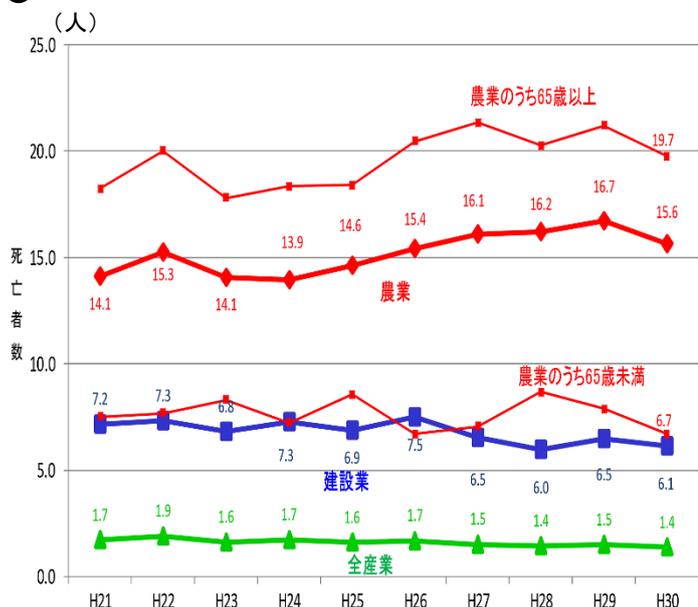


# 営農ウィークリーNEWS

## 農作業安全確認運動実施中!!



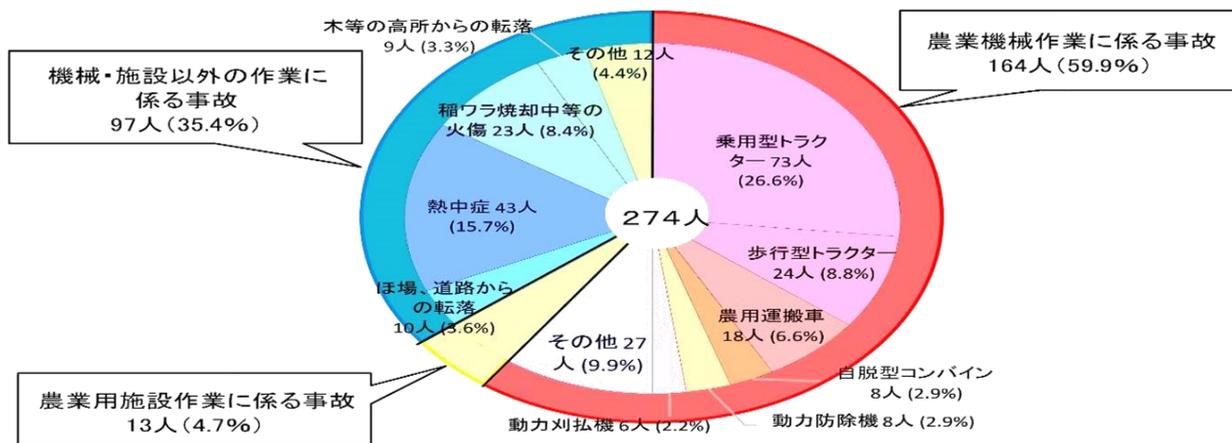
10万人あたり死亡事故発生件数の推移  
(農研機構・農作業安全情報センター資料より)

春の農作業が始まり、農業機械を扱う機会が増えてきました。慣れていない作業でも、ちょっとした不注意で大きな事故につながります。

農水省の調査では、この5年間は毎年約300の方が農作業で亡くなっており、その半分以上が農機事故です(下の円グラフ)。また、10万人当たり死亡者は、農業では全産業平均に比べ11倍もの高い数字になっています(左グラフ)。特に、65歳以上の高齢者による事故が8~9割近くを占めます。

3~5月は、春の全国農作業安全確認運動が実施されています。作業に当たっては、十分に安全に心掛け、点検を怠らず、チェックポイント(裏面)を確認して行いましょう。

### 要因別の死亡事故発生状況(平成30年)



(農林水産省調べ)

### TAC information



### 酸性土壌で傷んだホウレンソウの根

写真は、酸性ほ場で生育が悪いところのホウレンソウです。根はいじけたように曲がり、先端が丸みを帯びます。養水分の吸収が抑えられて生長できなくなったものです。

最近、石灰資材を投入されていますので、酸性ほ場は少なくなりましたが、窒素肥料を多く施用していると、硝酸態窒素がカルシウムと一緒に流亡し、酸性になりやすくなります。以前は、窒素肥料を多く施用する方の畑に酸性が多かったのは、このことから理解できます。

休憩も取りましょう!!

しっかり  
事故防止



チェックは  
こまめに  
忘れずに!!

# 5つの チェック ポイント

農機具の事故のほとんどは、一瞬の不注意から起きています。

事故を防ぐ5つのポイントを必ずチェックしましょう。

チェック  
ポイント

1 取扱説明書をよく  
読んで農機具を正しく  
使用していますか。



チェック  
ポイント

2 日常点検・定期点検  
は忘れずに  
行っていますか。



チェック  
ポイント

3 点検整備は必ず  
エンジンを止めて  
から行っていますか。



チェック  
ポイント

4 作業は身体に  
ピッタリあった服装で  
行っていますか。



チェック  
ポイント

5 「大丈夫だろう運転」は  
危険です。十分安全を  
確かめていますか。



J A 共済資料より

○機械作業を中断する時はエンジン停止！

○駐停車をするときは、駐車ブレーキを確実に！

○「ちょっとだけだから」は危険！

ちょっとの間だけだからとトラクターの左右ブレーキを連結しなかったり、刈払い作業で防護メガネを装着しなかったことで、事故が起きています。

○ヘルメットを被ろう！

○携帯電話を持ち歩こう！

○危険な場所にはポール等で目印を！

農水省啓発用チラシより